



代表取締役社長

佐野 健一

2029年のゴールに向かって、 「第2次3ヵ年経営計画」を始動

北興化学工業は、化学メーカーとして1950年2月27日に創立いたしました。有機合成反応技術「グリニャール反応」を利用した農薬製品の製造販売を主な事業としてスタートし、農薬事業で培った反応技術を活かしてファインケミカル事業に進出しました。ファインケミカル事業は、電子材料原料や樹脂原料などの高品質のファインケミカル製品を社会に提供し、もう一つの主力事業に発展しました。当社は、農作物の安定供給を支える農薬事業と幅広い産業活動を支えるファインケミカル事業を両輪に、着実な成長を遂げております。

当社グループは、2021年度より、従来の10ヵ年の長期経営計画および5ヵ年の中期経営計画をスタートしました。この3ヵ年に、当社の業績は堅調に拡大しております。また、コロナ禍からの社会活動が正常化するなど、当社を取り巻く経営環境が大きく変化しております。

こうしたことを踏まえ、長期経営計画の目標達成期間を1年前倒しし、最終年度となる2029年度の業績目標を売上高520億円、経常利益60億円に上方修正するとともに、中期経営計画については、コロナ禍以前と同じ3ヵ年に変更し、成長戦略等をより具体化・明確化しました。

「第2次3ヵ年経営計画（2024～2026年度）～HOKKO Value Up Plan 2029 2nd Stage～」では、成長投資を柱とした成長ドライバーを明確化するとともに、サステナビリティ向上への取り組みも含めた成長戦略を新たに策定しました。

成長を牽引するファインケミカル事業の生産能力増強、サステナビリティ向上、次世代に向けた成長領域創出を主体として、成長分野への設備投資・投融資を進めるとともに、新技術開発等に向けた研究開発や人的資本投資拡充を加速していきます。

また、「持続可能な社会の実現」と「持続的な企業価値向上」の好循環実現に向け、サステナビリティ向上への取り組みを一層強化し、「SDGs」「気候変動対応」「カーボンニュートラル・省エネ推進」「CSR調達推進」「人的資本経営」への対応を進めてまいります。

これら成長戦略等を具体化・実践することにより、農薬事業とファインケミカル事業を両輪とした経営をさらに進化させ、「強く豊かなHOKKO」の実現を目指してまいります。

ステークホルダーの皆さまには、本レポートを通じて、当社グループについてのご理解を深めていただくとともに、今後の活動に向け、皆さまからの忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いです。

2024年5月

■企業理念

「社会貢献」「環境」「技術」を経営のキーワードとし、全ての人々の幸せのため、食糧の安定供給に寄与する安全で安心な農薬製品および産業活動を幅広く支えるファインケミカル製品を社会に提供していきます。

■経営の基本方針

『企業理念』の実現に向け、立案した事業計画を着実に実行することにより、持続的かつ安定的な成長を実現し、国内外の産業の発展と豊かな社会づくりに貢献します。また、取締役会を中心とした経営の自己規律のもと、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、社会に信頼される企業であり続けます。